

会議開催結果

1 会議の名称	第2回砥部町健康づくり計画及び食育推進計画策定委員会
2 開催日時	令和元年11月27日（水）午後1時～
3 開催場所	砥部町保健センター 集団指導室
4 審議等事項	(1) 計画の中間評価・見直し（案）について (2) その他
5 出席者名	【委員】 木谷伸治（町内医師会代表） 小泉光江（町内小児科医代表） 稲田雅仁（町内歯科医師会代表） 奥田美恵（愛媛県立医療技術大学看護学科講師） 梅木建也（区長会代表） 的場善行（民生児童委員代表） 村上明子（NPO法人とべ子育て支援団体ぽっかぽか代表） 吉岡和哉（砥部町PTA連絡協議会会長） 水口武史（砥部町ふれあい・いきいきサロン連絡協議会会長） 山田幸美（砥部町食生活改善推進協議会会長） 水口 学（砥部消防署代表） 向井千春（砥部町栄養教諭代表） 【欠席者】 三木優子（愛媛県中予保健所長） 川崎ひとみ（砥部町立小中学校校長会代表） 東 宏幸（松山南警察署代表） 【事務局】 保険健康課 池田晃一・篠原万喜枝・福見早苗・光井雅美
6 公開・非公開の別	公開
7 非公開の理由	—
8 傍聴人数	0人
9 所管課	砥部町保険健康課 電話 962-6888

第2回砥部町健康づくり計画及び食育推進計画策定委員会会議録(概要)

発言者	発言内容
事務局	1 開会
会長	2 会長あいさつ
会長	3 議事 (1) 砥部町第2次健康づくり計画・食育推進計画＜中間評価・見直し＞（案）について
会長	砥部町第2次健康づくり計画・食育推進計画の中間評価・見直し（案）について事務局から説明をお願いします。
事務局	砥部町第2次健康づくり計画・食育推進計画＜中間評価・見直し＞（案）について説明
会長	ただ今の説明につきまして、何かご質問、ご意見はございませんでしょうか。 今事務局が説明した内容で、これから5年間の目標値がみえたと思いますが、この点はもっと強く言ったほうがいいのか、間違っているとか分かりにくい等何かありませんか。
委員	乳幼児がいる家庭の分煙について、これはもっと強く言えないのでしょうか。
事務局	22ページの推進する事業をご覧ください。乳幼児がいる家庭に対して、家庭内分煙の普及啓発を推進していこうと考えております。具体的にどのような手法をとるかということについて、現時点ではあくまで5年間の計画ということで詳細までは申し上げられませんが、チラシの配布や4か月児相談でアンケート調査の実施を考えております。

会長	よろしいでしょうか。
委員	まあ徐々に行うということなんですね。
会長	先ほど事務局から説明がありましたように、公の場や集会所は１００％禁煙化・分煙化されていますけど、子どものことはもっと強く進めた方がいいという意見があり、町の方はチラシを配る等を行うということですが、そういうことでよろしいでしょうか。
委員	はい、そういうことでよろしいです。
会長	その他、何か気がついた点がございましたら、お願いしたいのですが。
委員	食する時に「よく噛んで食べなさい」と言われますが、よく噛んで食べればどういう効果があるのか、また何回以上噛んだらよく噛んだと言えるのか、その２点を教えていただきたいと思います。
会長	そうですね、私もテレビの受け売りで言ってもいけないのですが、大体３０回以上噛んだら噛んだということになると聞いたのですが。
委員	３０回も噛まないといけないのですか。
会長	はい。事務局はどうでしょうか？
事務局	歯科の先生が来られていますので、ご意見を伺いたいと思います。
委員	毎食一口一口３０回以上噛むのは、まず不可能です。子ど

	もたちにも言っているのですが、最初の一口を30回50回噛む、そうすることによって習慣づけるため良いと我々は学校の中では指導しています。お腹の空いている時に、30回も噛めないと言われるかもしれないけど、一口目は噛み応えのあるものを、ゆっくりしっかり30回噛むと決めてやっていただくといいと思います。 噛むことによって当然、様々な効果があります。噛むということは、これから食物が行きますよという指示が出て、胃腸を刺激していくわけですね。それで準備ができるわけです。それと同時に、噛むということは唾液を出しますので消化・吸収により助けになります。また、認知症防止にもなりますいろいろな効果があるわけです。
委員	ということは、ガムを噛むのも同じ効果があると考えてもいいのですか？
委員	ガムを噛むということは、車の運転中に眠気防止やストレス発散、またスポーツ選手に多いのですがリラックスする等いろいろな効果があります。それも人それぞれによって違うので、日本では人前でガムを噛むというのはいただけないようになっていますけど、いろんなスポーツ関係ではリラックスする、また反対にアドレナリンを出す等取り入れることによって効果があると言われています。
会長	そういうことでよろしいですか。その他に何かご質問ございませんか。
委員	13ページの参考となるデータで、小学6年生と中学3年生で数が分かれていたらありがたいと思います。
会長	事務局、どうでしょうか。

事務局	13ページの参考となるデータは全て、小学6年生にのったアンケートを基にしており中学生は含まれていません。
会長	全て小学6年生ということですね。
委員	それならば、児童という表記を小学6年生に変更した方がわかりやすいのではないですか。
会長	事務局、どうでしょうか。
事務局	委員のおっしゃるとおりです。13ページの参考となるデータは、「児童」という表記を「小学6年生」と変更するか「児童（小学6年生）」とし、よりわかりやすくしたいと思っています。ただ、12ページの指標に関しては変更できませんのでご了承ください。
会長	13ページの参考となるデータは、「児童」を「小学6年生」という表記に変更するということによろしいでしょうか。
委員	はい。
会長	その他、何かご意見ございませんか。
委員	「保育園のもちつきでの世代間交流」を、ノロウイルスが流行した時に廃止したということですが、私の上野地区ももちつきを毎年子どもを含めて行っています。とても人気があり今年も12月上旬に予定していますが、それもやらない方がいいということでしょうか。
会長	区の行事については、そこまでは規制はしていないと思います。私方の隣の区でも、家にある杵と臼をお貸しすること

事務局	にしておりますが、そういう交流で地域の発展や地域のコミュニケーションを進めることに関しては、そこまでは立ち入っていないと思います。私の個人的見解ですが、そのように思っています。 もちつきの件ですが、30ページの一文を削除させていただいたのは、やるべきかやらないべきかという以前に、こちらは保育所の行事でしたから、保育所の判断で保護者への配慮でこの事業を取りやめた、という経緯のご説明をしたということです。会長さんがおっしゃっていたように、どうされるかはそれぞれの区の判断だと思います。ただ、砥部町が推進する事業としては、廃止された事業を載せるわけにはいきませんので、今回削除させていただいたということです。
委員	承知しました。
委員	こころの健康講座の若年層の対象者を教えてほしいのですが。
事務局	現在は各小中学校の養護教諭部会において、こちらから呼びかけて希望のあった学校で実施しています。現段階で小学5年生、中学2年生に実施しています。
会長	はい、小学校・中学校と言うことで事務局からご説明がありました。よろしいでしょうか。他に何かありませんか。
委員	17ページの「地域の人と何かをすることは、自分の子どもの生活を豊かにすると思う」というところは増加していますが、15ページの「児童クラブ、育児サークル等子どもを連れて出かける場に行く人の割合」は下がっているということで、今の傾向は早く仕事に行き始めている人が多く、児童クラブや育児サークルに行けないと思うので、仕事に行かれ

	ている方は「使用しない」という答えになると思います。家庭で保育されている方は、利用の割合が上がっているかもしれないし、保育園や幼稚園を利用されている方は下がっているかもしれない、そこがかなり違ってくると思います。私たちが開催しているつどいの広場の利用も、仕事に行ってる・行ってないでかなり左右されると思うので、このデータがもう少し細かく出たら、行き場が必要なのか必要じゃないのか、ということがはっきりするのではということを感じました。 もう一点が、学校でのSNSの問題ですが、先日も中学校で保護者を含めた講演会がありましたが、昼間の時間だったということもあって残念ながら保護者の参加が3名でした。そういう研修は一緒に受けた方がいいと、保護者の方からもよく聞きます。また、SNSのことでトラブルも発生していたり、家の中でも親子間で問題視していたり等聞くので、求められていますが、実際やるとそれくらいという現状です。子どもたちも授業で学びよく知っていると思うので、あまり聞き慣れてしまっても問題と捉えなくなるかな、とも思いながら説明を聞きました。やはり、子どもたちを危険から守らないといけないととても感じている部分ですが、学校はどういうことを周知しているか、子どもたちとどういうルール作りをしているか、子どもたちがどういうスマートフォンの使い方をしているかということも踏まえて、そのやり方や伝え方等をもう少し連携していただきたいと思います。数が多くなることが良いことでもないと思いますし、学校と連携してその周知を図り、いろんな聞ける場があるとか、親も選択して聞ける場があるというところがあったらいいかなと思いました。
事務局	まず1点目アンケートに関してですが、次回5年後になりますがご意見を活かし、もう少し詳しく調査していきたいと思います。アンケートに答えていただいた方の背景がわかり、実際にどのような場や活動があればいいのかがわかるア

	ンケートの取り方を考えていきたいと思います。 ２点目ＳＮＳの件ですが、現在こころの健康講座を行うなかで、小中学校の養護教諭部会に入り、学校ごとにどのような内容が必要なのか検討し教室に臨んでおります。ＳＮＳに関しては現在学校から要望が出始めたところで、さわりしか行っておりません。これからより内容を深めていきたいという方向ですが、こちらもご意見通り連携して効果のある教室にしていきたいと考えます。
会長	その他にございませんか。
委員	２８ページの朝食を食べない理由として「時間がない」という理由が平成２５年から平成３１年に向けて随分増えており、これは食育云々以前の問題だろうと思いますが、こちらが一番問題になってくるのではないかという気がします。
会長	どうでしょうかね、時間がなくて食べないというのが実際増えていますけど。
事務局	ご指摘の通りだと思います。これは、食の問題だけではなく、生活リズム・生活の時間等々の問題が関わってきます。朝早く起きられない原因はアンケートによると、テレビを見ていたりゲーム・ＳＮＳをして夜寝るのが遅くなっているようです。それは食育推進計画だけでは解決できないところもあり、健康づくり計画の重点目標５「生活習慣を改善する」の基本目標１「規則的な生活リズムをつくる」にも関わってきますので、合わせて推進していきたいと思います。
事務局	先ほど事務局が申し上げたのは小学６年生・中学３年生でありまして、夜更かしやＳＮＳ等が原因だろうと思いますが、両方とも平成２５年に比べ平成３０年は下がっています。上がっているのは一般の住民です。そうすると、一般の

	住民がなぜ「時間がない」が増えたかですが、考えられるのはおそらく共働きが増えたからだと思われます。
会長	よろしいでしょうか。
委員	はい。まあ、子どもがちゃんと食べているなら、将来的には問題ないと思いますがね。
会長	今、事務局が言われましたように現代はコンビニができた り、テレビ・パソコン・携帯電話の普及が進みまして、昔だ ったら「夜８時になったら寝ないかんよ」と言っていたが、子どもも塾に行く時間が多くなったりと夜型になっています。コンビニは２４時間やっているので、人間自体がコンビニに行ったりと夜遅くまで起きている、そうすると朝早く起きられないということになります。食育に対しても同じように、朝食を食べられないということも一般の住民にもあります。また、家庭では特に共働きの人が、一般の男性も女性も出勤に時間がかかるので朝食が摂れないことが多いのではないかと思いますかどうかでしょうか。
委員	２７ページのところで、基本目標２の「毎日朝食を食べている人」の割合ということでは、一般の人も８０．４％と増えてきているので、食べている人は少しずつ増えてきているけど、食べていない人の中でどういう事情で食べてないかということ、２８ページに理由を表しています。その中に、時間がないとか食欲がないとか増えてきていますが、食べている人は少しずつ増えているのかなと私は思いました。
会長	そういうことでよろしいでしょうか。その他ご意見ご質問ございましたら、お願いしたいのですが。 ないようなので、本日都合でご欠席されている川崎委員からご質問がありますので、事務局から説明していただきま

事務局	す。 砥部町立小中学校校長会川崎委員からの事前の意見とその回答を合わせて 7 点報告します。 5 ページ「食を愉しむネットワーク会議」がどのようなものか注釈があればよい、という意見をいただきました。これに関しては、「食を愉しむネットワーク会議とは、関係機関が集まり食育を推進することを検討する会」のことであり、その注釈を 5 ページの図の下方に作成します。 9 ページの重点目標 3 の基本目標（１）子どもから高齢者まで、繋がりをひろげるの「繋がり」という漢字は、ひらがな表記にした方がよい、という意見をいただきました。これに関しては、本計画は 10 年計画であり、ご意見をいただいた点は計画自体を変えることになるため、「つながり」とふりがなをつけて対応します。同じ表記のところは全てふりがなをつけます。 13 ページのワーキングでの意見 1 行目「学校で、SNS の問題やゲームの依存・トラブルが多い」とあるが、多いというとは比べるものがないので「ある」という事実の記載にした方がよい、という意見をいただきました。これに関しては、「多い」を「ある」に変更します。 19 ページの図 8、図 9 は年代別のデータであるが、前ページの指標項目は「おとな」の割合であり、その説明のデータを記載した方がわかりやすい、というご意見をいただきました。これに関しては、図 8、図 9 は 18 ページの指標 1 についてより詳しく提示したものであり、このままの図を載せたいと思います。 20 ページ指標の基本目標 4 「1 歳 6 か月児健診でむし歯がない児の割合」「3 歳 6 か月児健診でむし歯がない児の割合」とあるが、「児」だけではわかりにくいので「幼児」と記載した方がよい、というご意見をいただきました。これに関しては、先ほど説明したとおり指標は変更しない方がよい
-----	---

	ため、注釈を「児とは対象年齢の幼児です」と加えます。他にも同じような表記がありますので、同様にします。 21 ページ図 10～12 までを、基本目標の順番に合わせて図 11・図 12・図 10 の順番に変更した方がよい、という意見をいただきました。これに関しては、順番を基本目標に合わせて変更します。 28 ページ図 14 の 4 つのアンケートの順番を 27 ページ指標の基本目標 2 のアンケート順番に合わせた方がよいというご意見をいただきました。これに関しては、順番を、基本目標に合わせて変更します。 以上 7 点のご意見をいただきました。貴重なご意見をいただきまして、大変ありがとうございました。 以上で説明を終わります。
会長	続きまして事務局よりその他について説明いただきます。
事務局	事務局より、今後の流れ・次回の日程調整について説明
会長	何かご意見やご質問はございませんか。
会員	アンケートを実施するときの対象者の人数は同じでしょうか。バラバラだったら、母数を一緒に合わせているのか平均なのか、どうされているのでしょうか。
事務局	対象者全員にアンケートをとります。年によって人数は異なりますから、その割合で表しています。
会長	その他何か、ご意見・ご質問はございませんか。 これで議事が全部終わったというわけですが、委員の皆さまには、貴重なご意見をいただきましてありがとうございました。以上を持ちまして、第 2 回砥部町健康づくり計画及び食育推進計画策定委員会を閉会させていただきます。